

同窓生近況

3 回生高桑満
キヤッツで活躍中の



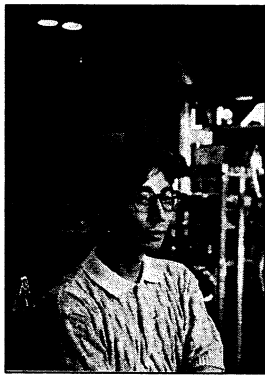
皆さん今日は、劇団四季の高桑満です。昨今の西高の発展ぶりは本当にスゴいですね。先生方のご努力も勿論の事、生徒諸君の絶めぬ精進があればこそその成果と思ひ、心より惜しみないアプローズをお送りします。

小生四十四年卒、学び舎を離れてもう二十年の歳月が経りましたが、今でも西高は私の身近に存在しています。舞台初日が近づき緊張感が高まってきました。当時の授業やテストで悩む己の姿が夢枕に現れていつも冷や汗をかかされるんですから。しかしこの手の悪夢は、私にとっては反省やら励ましやら時には役作りのきっかけを与えてくれたりする偉大な恩師でもあるんです。皆さんもこの様な体験ありますよね。

それはさておき、新天地を求め上京した小生が西も東も分らないうちに、ッーいままよ、どつともなれの心境で飛び込んだのだが、演劇の道。どうゆう訳か今日の日まで続いているのが自分でも不思議なくらいです。いろいろな演劇研究所を経て今の劇団四季に入ってから十

五年、劇団のほとんどのミュージカルに携わり、中でも大年前から始まった「キヤッツ」は私のライフワークのようなもので初演以来二百以上のステージを務めてきました。名古屋でも昨年の初日から今年三月半ばまで出演してきましたが、東京での公演「オペラ座の怪人」「ジーザスクライスト」「スーパースター」人間になりたかつた猫と次々に幕開けに出演の為残念ながら只今は名古屋を留守にしています。いつか又名古屋の皆様とお目にかかれませう様朗クランが続いてくれる事をひたすら願っている次第です。大いなる心を持ち誇り高く強く生きていく個性豊かな猫たちが歌と踊りで描き出すキヤッツワールドに皆さんも出かけてみませんか。

映画を企画製作した
10 回生小島敏弘



体育館の舞台裏の二階の部屋で、若き演劇論を戦わせたのもつい昨日のことのように・・・思ひはしないものの、萩原の里の学び舎を、思い出の舞台として「記憶」という名のアルバムの一頁に押し込めてより早13年。ついつい「月日がたつのは早いもの。」と独り言をつぶやくようになったのは、自らの年齢を意識する年代に至ったことの証でしょうか。

さて、この度、私のような者に、一年一度の貴重な会報の紙面に登場させて戴くという名誉を与えて戴けたのは、昨夏、私が映画を制作したことに注目戴いたことということで、大変僥倖ながら筆を執らせて戴きました。

私が企画制作いたしました映画、タイトルは「宇宙の法則」、監督は、「二代目はクリスチャン」「犬死にせしもの」などで有名な井筒和幸氏、出演は、古尾谷雅人、鳥越マリ、横山めぐみ、長塚京三、馬淵晴子、芦川よしみ、常田富士夫、竹中直人、柄本明、寺田農、三木のり平、その他豪華な顔ぶれで、メジャーな映画製作会社の作品に引けをとらないキヤッツィングです。テーマは、「家族愛」。主演、古尾谷雅人演じる毛織の街一宮の小さな機屋の次男坊が、自分の夢現実に向けて前向きに生きてゆく姿を通して、暖かい家族、友人、恋人の愛の責を背き、自分の身近な人々のやさしさ、そして故郷の大切さを感じて欲しい、そんな願いを込めた映画です。

劇場公開は、今秋東京又は名古屋を先行に全国で大映配給にて行なわれますが、一宮でもぜひ上映したいと考えています。近々配給宣伝も始まりますので、会員の皆様にも何卒ご支援戴きたく思います。未筆ながら、会員の皆様のご健勝と母校の発展をお祈りいたします。

バドミントンOB会
21 回生荒木晴美

こんにちは。西高バドミントン部のOB会の幹事です。今やメジャースポーツの仲間入りをしようとしているバドミントンですが、知らない人はいませんよね。

我が西高バドミントン部も今年、平成元年度を迎えまして、バドミントン部設立13年(だと思つ)になります。最初、同好会から始まったこの部活も全盛期には男女とも団体戦で大会の度に県大会に出場し、個人戦シングルでは、全国大会に出場した先輩もいて、賞状のない時がなかったと聞いています。まあ今は、(私の勝手な意見かもしれませんが)結果はともかくとして、楽しく、一生懸命練習しています。

さて、我が西高バドミントン部OB会はいつの頃からか、卒業した次の年に、その学年が幹事をするということになっていて、年に一度、夏に一度会を催してきました。今回、そのOB会活動状況を皆様を知っていただきたく、この場をお借りしました。

私は昨年の幹事代表をさせて頂いたきました。私の勝手に体育館を借りて、OBの方々にはバドミントンを楽しんでもらうという企画を立てました。バドミントンから何年かはなれていたという人が、久しぶりにラケットを握りとまどったりしながらも、それなりに楽しんでいただけだと思つています。汗を流した後で、食事をし、(あまり遠くない?)昔話に花を咲かせ、あつという間に時間が経つてしまいました。バドミントン、食事も、それぞれ20名ほど集っていただき、思ったより好評でした。これからは、みんなが自分のいた西高バドミントン部を忘れないでいてくれたら。そしてたまにはバドミントンラケットを握ってくれたらいいな、と思つています。

バドミントン部OB会



中館から北館への渡り
平成元年2月完成

